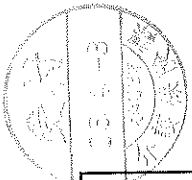


あすならホーム高田 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
2023年度 自己評価・外部評価 評価表



項目番号	項目	自己評価			外部評価コメント
		実施状況	コメント	外部評価コメント	
		ほぼできてい	ここでできていない	全くできていない	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]					
(1) 理念の明確化					
1	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	8	1	0	事業所の方針・サービスの方針を作成している。
(2) 適切な人材の育成					
専門技術の向上のための取り組み					
2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	9	2	0	法人の理念を掲げ職員に年に1度は学習会を行っている。
3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーター)の判断能力(などの向上)のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	5	6	0	サービスにあった学習会を法人内で開催している。外部の学習会の案内は行っている。また一人一人に必要な学習計画を立て実行している。
4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	8	1	0	訪問時の方にあつた技術になるまで同行訪問を繰り返して行い、職員が統一してアーが提供できるようにしている
5	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	8	1	0	利用者の状況は常に情報交換している。アプリを活用したタイムリーに共有できるようにしている
(3) 適切な組織体制の構築					
組織マネジメントの取り組み					
6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	7	2	0	随時訪問行えるよう携帯アプリで情報を共有し近くを訪問している職員が支援に行けるよう工夫している

2023年度 自己評価・外部評価 評価表

項目番号	項目	自己評価			外部評価コメント
		実施状況			
		ほぼできてい	できていない	全くできてい	
7	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	1	1	定期的な会議は行い、いただいたご意見は支援に反映している。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備					
8	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	6	0	0	日勤・夜勤での情報のずれがないようアプリを活用し情報共有し、状態の変化や支援変更なども密に行っている。また、ディスプレイなどの他サービスとも必要に応じて情報共有している。緊急入院時は速やかに情報を医療機関と共有できるようにしている。
(5) 安全管理の徹底					
9	安全管理の徹底 職員	5	6	0	BCPを作成し行動出来るようにしている。また法人の行う避難訓練・交通安全講習にも参加している。
10	利用者等に係る安全管理	7	2	0	個人情報取扱いについてご家族に説明を行い同意をいただいている。
II 過程評価 (Process)					
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供					
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成					
11	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	8	1	0	生活リズムを把握し必要な支援を行っている。また状況が変化したところで訪問の仕方を変えている。
12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つぎ合わせ等が行われている	9	1	0	介護看護一緒にケア会議を行い必要な支援を行っている。

2023年度 自己評価・外部評価 評価表

		自己評価			外部評価コメント
		実施状況	コメント	外部評価コメント	
項目番号	項目	ほぼできてい る	できてい ない	全くできてい ない	
13	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	11	0	0	行われている。
14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	7	4	0	往診医・薬局・看護師・ヘルパーと連携して普段からの体調管理を行い、長く自宅で生活できるように連携している
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し					
15	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	4	2	0	体調不良やご家族が留守になる・デイサービスキャンセル等々必要に応じて随時訪問している
16	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	8	1	0	月に1回のモニタリングを行いサービス内容は適正なのか話し合い適切なサービスが提供できるようにしている

2023年度 自己評価・外部評価 評価表

		自己評価				外部評価コメント		
		項目番号	項目	実施状況	コメント			
				ほぼできてい る ことができ ない ことができ ない できてい ない				
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービスの提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	10	0	0	状況に応じて介護士・看護師が訪問しの役割分担を行っている。情報は密に行い連携してケアを行っている	行われている。
	看護職によるサービスの提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	8	0	0	既往歴の情報共有・注意点などの指導を行い職員で共有している。また変化がある時は医師と連携をとっている	連携がとられている。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	8	3	0	重要事項説明書を丁寧に説明し在宅で生活するためのサービスの事、自立支援をしていることを説明している	説明されている。
	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	7	2	0	ケアマネの計画書を元に作成しご家族・ご本人に説明してサインをもらっている	できている。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービスの提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	7	1	0	ご家族とは連携を密に行いサービス提供している。ご家族からも相談を受ける事も多い。	行われている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
	利用者等の状況の変化について、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	9	1	0	ケアマネとは常に状況の報告は行い情報共有している。訪問日時の変更も共有している	共有できている。

2023年度 自己評価・外部評価 評価表

項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
		実施状況				
		ほぼできてい	できていない	全くできてい	コメント	
23	計画的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	8	3	0	その方が自宅で生活できるよう地域資源を活用しながらのサービスを心掛けている	心掛けされている。
24	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	9	1	0	サービス担当者会議で利用状況などの情報交換を行い計画目標が達成できるよう連携している	連携されている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献						
25	利用者の在宅生活の継続に必要なサポート(保険外サービス、インフォर्मルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	5	5	0	必要な利用者は地域で生活するために市役所・消防署・警察なども連携がとれるように話し合いを行っている	行われている。
26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	7	3	0	入院や入所時は必要に応じて情報提供している。また入院中も病院での様子を聞き取りしている。退院時・他サービスからの変更時はカンファレンスを行い自宅での支援に繋がっている	7割行われている。
27	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	7	4	0	その方の状況に応じてご家族は勿論、後見人・市役所・医療機関・警察・消防署・他サービス等連携をとりながらの支援を行っている	行われている。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画						
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案						
28	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	5	3	1	施設内での回覧・法人のホームページでも公開している	公開されている。

2023年度 自己評価・外部評価 評価表

項目番号	項目	自己評価			外部評価コメント
		実施状況			
		ほぼできてい	できていない	全くできてい	
29	当該サービスの概要や効果等について、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	4	4	1	行われている。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画					
30	行政の地域包括ケアシステムの構築に係る方針や計画の理解	5	5	0	行政の介護保険事業計画・方針を理解しサービスをを行っている
31	サービス提供における、地域への展開	8	2	0	地域に広く展開できよう工夫して訪問している。
32	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	8	2	0	市と協力して健康教室を開催し地域住民の健康づくりを行っている。また、地域の商店街でも看護師・介護士・栄養士による健康相談の日を設け「健康や介護の相談」が出来る環境を作っている。自治会とも連携し地域づくりに参加している
Ⅲ 結果評価 (Outcome)					
33	サービス導入後の利用者の変化	8	2	0	利用開始時より自分で出来る事が増える。元氣になった。などQOLを上げることが出来ている
34	在宅生活の継続に対する安心感	8	1	0	在宅生活に必要な支援を行い、相談にも応じる事で自宅での生活を安心して過ごしてもらっている

実施日：2024年 3月30日

外部評価者： 萬本量美

記入者： 紙森美保